

大学における通訳案内演習

明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部

上杉恵美

1. 授業のテーマと概要

科目名：「ケーススタディ I・II」(学部3・4年生必修科目)

テーマ：「日本を英語で紹介しよう」

授業内容：別紙(「2011年度ケーススタディ I 授業概要」) 参照

2. 授業目標

- ・通訳案内に必要とされる基礎的な英語力を身につける。
- ・日本の伝統文化を実際に体験すること、観光地を研究し実際に現地を訪れることを通して日本の魅力を発見し、それを英語で紹介できるようにする。

3. 授業活動例

(1) 日本文化体験

いけばな(大学華道部の小原流講師による指導)

茶道(大学茶道部の裏千家講師による指導)

飾り毛布(元青函連絡船乗務員による指導)

(2) 観光地における通訳案内実習

「ここを通して『魅力的な日本』を紹介したい」と思う場所を話し合いで選び、1泊2日のゼミ旅行を計画・実施する。

現地では事前に準備した原稿を活用して、通訳案内実習を行なう。

(3) 現地での通訳案内実習をもとにした発表と冊子作成

実習の様子を録画したDVDを用いて発表を行う。

作成原稿と現地での実習をまとめた冊子を作成する。

4. これまでの成果と今後の課題

・授業目標の達成度

日本の魅力を発見することができたか？

それを伝えるための英語力は身についたか？

・就職先での活用

・通訳案内士試験の受験

2011 年度ケーススタディ I 授業概要

担当教員名	選考方法・基準
上 杉 恵 美	<p>方法 書類選考（必要に応じて面談）</p> <p>基準 学習意欲と行動力のある学生、グループ活動に積極的に参加できる学生を歓迎する。</p>
<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">日本を英語で紹介しよう</p>	
<p>授業概要</p> <p>外国人から日本のことを尋ねられて、うまく答えることはできますか？自分の国のことを英語でわかりやすく説明するのは、意外にむずかしいものです。</p> <p>本ケーススタディは、次の 4 点をおもな活動内容とし、日本の文化・歴史・観光地・日常生活等を英語で紹介することができるような力を養います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本の文化・歴史・観光地・日常生活などについての基本事項を、教科書と資料を活用して、日本語と英語の両方でわかりやすく説明できるよう練習する。 (2) 茶道や生け花、飾り毛布などを体験することを通して日本の伝統にじかに触れ、日本の魅力とは何か、を考える。 (3) 外国人旅行者に人気のある観光地に足を運び、事前に作成した日本語と英語のガイド原稿をもとに、通訳案内演習を行なう。 <div style="margin-left: 40px;"> ※演習地：日光（2007 年度）京都（2008 年度） 広島・鎌倉（2009 年度） 三重・青森（2010 年度予定） </div> (4) 1 年間の活動の成果を全員で冊子にまとめる。 	
<p>テキスト、その他</p> <p>テキストは授業時に指示する。また、参考資料を随時配布する。</p>	